

報道関係者 各位

令和8年5月29日

【照会先】

神奈川県労働局職業安定部職業安定課

課長 村田 経隆

課長補佐 杉山 次郎

(電話) 045(650)2800

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組について

全国の公共職業安定所（ハローワーク）においては、これまでもPDCAサイクルによる目標管理等により業務改善を進め、マッチング機能の強化を図ってきたところですが、平成27年度からはこれを抜本的に見直し、

- ① PDCAサイクルによる目標管理及び業務改善の拡充
- ② ハローワークのマッチング機能に関する業務の総合評価の実施及び公表
- ③ 全国的な業務改善に向けた取組の強化

を一体的に実施しています。

このことを踏まえ、神奈川県労働局及び各ハローワークにおいては、令和8年度の就職件数や充足数等に係る目標値を別添のとおり設定し、その目標達成に向けた取組内容等について労働局ホームページに掲載いたします。

神奈川県労働局及び各ハローワークでは、この目標達成に向けて取り組んでいくほか、中長期的な業務の質の向上や継続的な業務改善を図るとともに、成果や評価結果、業務改善の状況等について利用者にわかりやすく公表することにより、ハローワークに対する信頼感の向上に努めることとしています。

神奈川県労働局における令和8年度マッチング機能の総合評価に係る目標設定等

マッチング機能に関する業務目標【主要指標】

	① 就職件数 (件)	② 充足数 (件)	③ 雇用保険受給者の早期再就職割合 (%)	④ 人材不足分野の就職件数
横浜所	6,688	7,877	29.8%	1,421
戸塚所	2,419	1,464	28.9%	667
川崎所	3,316	3,035	34.8%	781
横須賀所	2,811	2,014	31.4%	766
平塚所	2,517	2,049	30.6%	647
小田原所	1,403	1,186	32.3%	333
藤沢所	3,705	2,889	28.1%	942
相模原所	3,623	2,973	29.5%	813
厚木所	2,428	2,244	29.3%	545
松田所	1,531	1,160	25.8%	346
横浜南所	1,402	1,155	26.1%	338
川崎北所	3,574	2,112	30.0%	857
港北所	3,138	2,634	30.2%	658
大和所	2,294	1,529	29.1%	522
局計	40,849	34,321	29.9%	9,636

- 「①就職件数」とは、「公共職業安定所の職業紹介により就職した件数」のこと。
- 「②充足数」とは、「公共職業安定所の求人（受理地ベース）の充足数」のこと。
- 「③雇用保険受給者の早期再就職割合」とは、「基本手当の支給残日数を所定給付日数の3分の2以上残して早期に再就職する者の割合」のこと。
- 「④人材不足分野の就職件数」とは、「医療・介護・保育・建設・警備・運輸において就職した件数」のこと。

上記主要指標のほか、マッチング業務の実施状況を測定する評価指標やハローワークのサービス提供の質を測定する評価指標等についても、それぞれ目標を設定し、その達成に向けて取り組む。

目標達成に向けた具体的な取組内容

① 就職件数	<p>求職者の希望条件・経験・資格等を正確に把握し、きめ細やかな職業相談及び的確な職業紹介の実施により就職の促進を図る。</p> <p>具体的には「求職者担当制による求職者支援サービスの積極的な実施」「オンライン職業相談・職業紹介」等により目標達成に向けて取り組む。</p>
② 充足数	<p>求人内容を詳細に確認し、求職者から見て分かりやすく魅力のある求人票作りの助言を求人者に対して行うとともに、求人者ニーズを的確に把握し積極的なマッチングを行うことにより求人者の充足を図る。</p> <p>具体的には「未充足求人フォローアップ」「求人（事業所）担当者制の実施」「就職面接会・企業見学会の開催」等により目標達成に向けて取り組む。</p>
③ 雇用保険受給者の 早期再就職割合	<p>雇用保険受給手続き時等においてハローワークの就職支援メニュー等を説明し、早期再就職への意欲喚起を行い、早期再就職の促進を図る。</p> <p>具体的には「就職支援セミナーへの参加勧奨」「求職者担当制による求職者支援サービスの利用促進」「求人情報の積極的な提供」等により目標達成に向けて取り組む。</p>
④ 人材不足分野の 就職件数	<p>人材不足が深刻な医療・福祉、建設、警備、運輸等の分野については、より一層、多くの事業所において人材不足の傾向が顕著であるため、特に重点的な人材確保の取組が求められており、労働力のマッチング機能を強化し、ミスマッチの改善等を図る。</p> <p>具体的には介護労働安定センター、福祉人材センター、福祉人材バンク、ナースセンター、保育士・保育所支援センター、教育機関、事業主団体、地方公共団体、商工会・商工会議所、関係行政機関等と連携し、求人者・求職者双方への総合的な人材確保対策を実施し、目標達成に向けて取り組む。</p>

マッチング業務の実施状況を測定する評価指標【マッチング補助指標】

項目	労働局目標値
新規求職者 1 人当たりの紹介件数	0.97
「有効期間中 1 件以上紹介があった求人件数」の割合	32.1%

ハローワークのサービス提供の質を測定する評価指標【満足度指標】

項目	労働局目標値
満足度（求職者）	91%
満足度（求人者）	83%

※その他、安定所と労働局が調整し設定する指標

(参考)令和8年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標設定

横浜 公共職業安定所

項目		目標値
主要指標	就職件数(一般)	6688件
	充足数(一般、受理地ベース)	7877件
	雇用保険受給者の早期再就職割合	29.8%
	人材不足分野の就職件数	1421件
マッチング補助指標	新規求職者1人当たりの紹介件数	1.05
	「有効期間中1件以上紹介があった求人件数」の割合	31.5%
満足度指標	満足度(求職者)	91.0%
	満足度(求人者)	83.0%
令和8年度 横浜公共職業安定所の課題と対応		
<p>医療・介護・保育の3分野の人材確保対策が最重点課題であり、「医療・福祉分野の求人充足対策検討チーム」を立ち上げ、年度当初から円滑に実施する。</p> <p>マッチング会議や付属施設において行うイベント等でも、医療・福祉分野の充足対策を意識した業務運営に移行する。</p> <p>求人開拓と充足支援のバランスのうち求人開拓の量を上げることや、双方向制の求職者担当者制に取り組める環境作りなど、組織の見直し等も含めて改善策を講じる。</p> <p>わかものハローワークや、マザーズハローワーク、新卒応援ハローワーク等の対象者への支援は、引き続き支援対象者別の毎月業務の振り返りや進捗管理を組織的に行っていくなど、取組が停滞・形骸化しないよう留意する。</p>		

(参考)令和8年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標設定

戸塚 公共職業安定所

項目		目標値
主要指標	就職件数(一般)	2419件
	充足数(一般、受理地ベース)	1464件
	雇用保険受給者の早期再就職割合	28.9%
	人材不足分野の就職件数	667件
マッチング補助指標	新規求職者1人当たりの紹介件数	0.98
	「有効期間中1件以上紹介があった求人件数」の割合	28.0%
満足度指標	満足度(求職者)	91.0%
	満足度(求人者)	83.0%
令和8年度 戸塚公共職業安定所の課題と対応		
<p>医療・介護・保育の3分野の人材確保対策が最優先課題であり、加えて新規求人確保の為に積極的な求人開拓も実施する。前例を廃した業務改善により負担軽減も図りながら、メリハリのある業務運営を行う。</p> <p>また、支援対象者別のマッチング業務は、引き続き毎月業務の振り返りや進捗管理を組織的に行っていくなど、取組が停滞・形骸化しないよう留意する。</p>		

(参考)令和8年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標設定

川崎 公共職業安定所

項目		目標値
主要指標	就職件数(一般)	3316件
	充足数(一般、受理地ベース)	3035件
	雇用保険受給者の早期再就職割合	34.8%
	人材不足分野の就職件数	781件
マッチング補助指標	新規求職者1人当たりの紹介件数	0.98
	「有効期間中1件以上紹介があった求人件数」の割合	28.0%
満足度指標	満足度(求職者)	91.0%
	満足度(求人者)	83.0%
令和8年度 川崎公共職業安定所の課題と対応		
<p>令和8年度は医療・介護・保育の3分野の人材確保対策が最重点課題であることから、訪問対象事業所リストを作成し、特に繁忙期に所長・次長が率先して事業所訪問を行うなど、円滑に実施する。</p> <p>求人充足支援サービスが職業相談企画部門と事業所部門で別々に実施されていることから、業務体制や運営方法の見直しを行い、利用者にとって分かりやすく質の高いサービス提供に改良する。</p> <p>マザーズ事業や学卒業務等の対象者への支援は、引き続き、毎月業務の振り返りや進捗管理を組織的に行っていくなど、取組が停滞・形骸化しないようご留意する。</p> <p>また、雇用保険給付課と職業相談部門の連携について、年度当初に多く来所される雇用保険受給者をしっかり窓口に取り込む。</p>		

(参考)令和8年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標設定

横須賀 公共職業安定所

項目		目標値
主要指標	就職件数(一般)	2811件
	充足数(一般、受理地ベース)	2014件
	雇用保険受給者の早期再就職割合	31.4%
	人材不足分野の就職件数	766件
マッチング補助指標	新規求職者1人当たりの紹介件数	1.13
	「有効期間中1件以上紹介があった求人件数」の割合	39.6%
満足度指標	満足度(求職者)	91.0%
	満足度(求人者)	83.0%
令和8年度 横須賀公共職業安定所の課題と対応		
<p>医療・介護・保育の3分野の人材確保対策を最重点課題として、重点3分野にハローワークの限られた資源(手間と時間)を割り最優先で取り組むこととしている中、医療・福祉分野の新規事業所開拓について、求職者と窓口の第一線で接している若手職員等を帯同させるなど効果的な訪問を実施する。</p> <p>マザーズ・生涯現役・障害者の対象者への支援は、引き続き、毎月業務の振り返りや進捗管理を組織的に行っていくなど、取組が停滞・形骸化しないよう留意する。</p>		

(参考)令和8年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標設定

平塚 公共職業安定所

項目		目標値
主要指標	就職件数(一般)	2517件
	充足数(一般、受理地ベース)	2049件
	雇用保険受給者の早期再就職割合	30.6%
	人材不足分野の就職件数	647件
マッチング補助指標	新規求職者1人当たりの紹介件数	0.98
	「有効期間中1件以上紹介があった求人件数」の割合	35.3%
満足度指標	満足度(求職者)	91.0%
	満足度(求人者)	83.0%
令和8年度 平塚公共職業安定所の課題と対応		
<p>求人・求職(就職困難者への就職支援を含む)・雇用保険受給者の早期再就職支援や付属施設の活性化策等に取り組む。 医療・介護・保育の重点3分野の求人充足を最重点事項として、ハローワークの限られた資源(手間と時間)を割り、最優先課題の絞り込みや担当の振り分けを行う。 来所した利用者が、待ち時間を理由に十分なサービス提供を受けることなく帰ることがないよう、対策を講じる。 伊勢原ふるさとハローワークの活性化のために、一定数の求職者を付属施設に誘導する対応強化と併せ、他所の取組を参考に、用件別に対応ルート・窓口を細分化するなどの業務効率化を行う。</p>		

(参考)令和8年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標設定

小田原 公共職業安定所

項目		目標値
主要指標	就職件数(一般)	1403件
	充足数(一般、受理地ベース)	1186件
	雇用保険受給者の早期再就職割合	32.3%
	人材不足分野の就職件数	333件
マッチング補助指標	新規求職者1人当たりの紹介件数	0.92
	「有効期間中1件以上紹介があった求人件数」の割合	33.6%
満足度指標	満足度(求職者)	91.0%
	満足度(求人者)	83.0%
令和8年度 小田原公共職業安定所の課題と対応		
<p>昨年度は、新規求職者数や相談件数が対前年比増加している一方、紹介件数・就職件数は減少しており、一般求職者を確実に再来に繋げるために、誰が対応しても個別支援への誘導や情報提供後のフォローアップなどが適切に行えるような体制の構築・維持を行う。</p> <p>求人充足数の要因分析や新規求人開拓にも既に取り組んでおり、引き続きミニ面接会等も活用しながら、丁寧な求人充足支援サービスの提供を行う。</p> <p>医療・介護・保育の重点3分野の求人充足を最重点事項としており、医療・福祉分野の就職及び充足を図るため、複数の医療機関を集めた合同就職面接会等を開催し、ハローワークの取組が業界に認知されるよう、幅広に参加勧奨し、複数開催する。</p>		

(参考)令和8年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標設定

藤沢 公共職業安定所

項目		目標値
主要指標	就職件数(一般)	3705件
	充足数(一般、受理地ベース)	2889件
	雇用保険受給者の早期再就職割合	28.1%
	人材不足分野の就職件数	942件
マッチング補助指標	新規求職者1人当たりの紹介件数	0.91
	「有効期間中1件以上紹介があった求人件数」の割合	34.5%
満足度指標	満足度(求職者)	91.0%
	満足度(求人者)	83.0%
令和8年度 藤沢公共職業安定所の課題と対応		
<p>混雑緩和対策としてレイアウト変更・シフト見直しを行い、雇用保険受給者の職業相談手法の改善に着手し、雇用保険受給者の紹介件数減少に歯止めをかける策を講じる。</p> <p>また、就職件数・充足件数を向上させるためには、自所の良質な求人を鮮度の高いうちに自所で紹介に繋げるという「基本業務」を徹底し、事業所部門と職業相談各部門の部門間連携や、各部門内スタッフの情報共有等を円滑に行い、充足支援強化の仕組みがスタッフに定着するよう、管理者が継続的に関与する。</p>		

(参考)令和8年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標設定

相模原 公共職業安定所

項目		目標値
主要指標	就職件数(一般)	3623件
	充足数(一般、受理地ベース)	2973件
	雇用保険受給者の早期再就職割合	29.5%
	人材不足分野の就職件数	813件
マッチング補助指標	新規求職者1人当たりの紹介件数	0.99
	「有効期間中1件以上紹介があった求人件数」の割合	35.3%
満足度指標	満足度(求職者)	91.0%
	満足度(求人者)	83.0%
令和8年度 相模原公共職業安定所の課題と対応		
<p>本所と付属施設の業務バランスの不均衡について、本所の混雑緩和のためにも、一定数を付属施設利用に誘導する取組は必要不可欠。付属施設を初めて利用した方への施設認知経路アンケートの実施など、新たな打開策も多面的に検討する。</p> <p>職業訓練、生活保護、マザーズハローワーク、障害者等の対象者への支援は、引き続き支援対象者別に毎月業務の振り返りや進捗管理を組織的に行っていく。</p> <p>さらに、医療・介護・保育の重点3分野の求人充足を最重点事項として、ハローワークの限られた資源(手間と時間)を割き、円滑な進行を図る。</p>		

(参考)令和8年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標設定

厚木 公共職業安定所

項目		目標値
主要指標	就職件数(一般)	2428件
	充足数(一般、受理地ベース)	2244件
	雇用保険受給者の早期再就職割合	29.3%
	人材不足分野の就職件数	545件
マッチング補助指標	新規求職者1人当たりの紹介件数	0.90
	「有効期間中1件以上紹介があった求人件数」の割合	39.5%
満足度指標	満足度(求職者)	91.0%
	満足度(求人者)	83.0%
令和8年度 厚木公共職業安定所の課題と対応		
<p>医療・介護・保育の3分野の人材確保対策が最重点課題であり、事業所訪問や求人開拓、イベント開催等において同分野の対策強化を図る。</p> <p>窓口の混雑緩和を図り、一般求職者や高齢求職者等へ能動的な支援を着実にを行うなど課題解決に取り組み、所全体の意思統一や進捗管理を図る。</p> <p>また、求人者支援員による求人開拓のための事業所訪問の目的や質の均一化、充足会議の運用見直しを行う。</p>		

(参考)令和8年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標設定

松田 公共職業安定所

項目		目標値
主要指標	就職件数(一般)	1531件
	充足数(一般、受理地ベース)	1160件
	雇用保険受給者の早期再就職割合	25.8%
	人材不足分野の就職件数	346件
マッチング補助指標	新規求職者1人当たりの紹介件数	0.85
	「有効期間中1件以上紹介があった求人件数」の割合	38.3%
満足度指標	満足度(求職者)	91.0%
	満足度(求人者)	83.0%
令和8年度 松田公共職業安定所の課題と対応		
<p>医療・介護・保育の重点3分野の求人充足を最重点事項として、少人数で業務運営している中、限られた資源(手間と時間)を分割し、効率の良い業務運営に取り組む。</p> <p>また、雇用保険受給者は定期的な来所をこちらから求めているものであり、効果的なアプローチによって早期再就職割合のみならず、就職件数・充足件数にも作用すると思慮され、初回講習、初回認定日相談でのニーズ把握徹底や個別支援への切り換え勧奨など、対策強化を実施する。</p>		

(参考)令和8年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標設定

横浜南 公共職業安定所

項目		目標値
主要指標	就職件数(一般)	1402件
	充足数(一般、受理地ベース)	1155件
	雇用保険受給者の早期再就職割合	26.1%
	人材不足分野の就職件数	338件
マッチング補助指標	新規求職者1人当たりの紹介件数	0.91
	「有効期間中1件以上紹介があった求人件数」の割合	36.0%
満足度指標	満足度(求職者)	91.0%
	満足度(求人者)	83.0%
令和8年度 横浜南公共職業安定所の課題と対応		
<p>昨年度より着手している、職業相談部門と事業所部門の連携強化や、自所受理良質求人の早期充足のための情報提供等、基本業務の徹底・強化に引き続き取り組む。</p> <p>医療・介護・保育の重点3分野の求人充足を最重点事項として、ハローワークの限られた資源(手間と時間)を割き、所として優先すべきとして挙げた、雇用保険受給者の早期再就職支援の充実や企業向けイベント訪問の体系化などの取組と重点3分野への取組の進行バランス等について、新年度の開始と共に適切に運用する。</p> <p>イベント開催による成功体験について、そのノウハウに加え達成感等も引き継ぎ、地域におけるハローワークの存在感を一層高める。</p>		

(参考)令和8年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標設定

川崎北 公共職業安定所

項目		目標値
主要指標	就職件数(一般)	3574件
	充足数(一般、受理地ベース)	2112件
	雇用保険受給者の早期再就職割合	30.0%
	人材不足分野の就職件数	857件
マッチング補助指標	新規求職者1人当たりの紹介件数	0.90
	「有効期間中1件以上紹介があった求人件数」の割合	29.0%
満足度指標	満足度(求職者)	91.0%
	満足度(求人者)	83.0%
令和8年度 川崎北公共職業安定所の課題と対応		
<p>医療・介護・保育の3分野の人材確保対策が最重点課題であることに加え、今年度より「人材確保分野のマッチング支援」の課題解決型支援事業の実施所となっており、人材確保対策コーナーの取組強化、人材不足分野の未充足対策に優先的に着手する。</p> <p>所一丸となって毎月の振り返りと現状分析、改善の方策実行による実効性のあるPDCAサイクルを回し、円滑かつ積極的な事業運営を行う。</p>		

(参考)令和8年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標設定

港北 公共職業安定所

項目		目標値
主要指標	就職件数(一般)	3138件
	充足数(一般、受理地ベース)	2634件
	雇用保険受給者の早期再就職割合	30.2%
	人材不足分野の就職件数	658件
マッチング補助指標	新規求職者1人当たりの紹介件数	0.92
	「有効期間中1件以上紹介があった求人件数」の割合	26.3%
満足度指標	満足度(求職者)	91.0%
	満足度(求人者)	83.0%
令和8年度 港北公共職業安定所の課題と対応		
<p>課題の一つである混雑緩和を解消し、紹介件数増加に向けた取組等、相談内容別の求職者の振り分けを浸透させる。 医療・介護・保育分野を含む一般求人の開拓及び求人充足対策に取り組まれる際には、令和8年度から課題解決型支援事業実施所となる川崎北所と隣接している環境下であり、特に充足対策においては連携を強化し、相乗効果を生む取組を実施する。 職業訓練・障害者・既卒3年以内を含む新規学卒者対策についても、引き続き、支援対象者別に毎月業務の振り返りや進捗管理を組織的に行っていく。</p>		

(参考)令和8年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標設定

大和 公共職業安定所

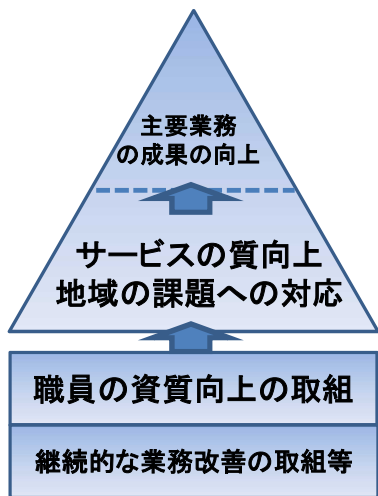
項目		目標値
主要指標	就職件数(一般)	2294件
	充足数(一般、受理地ベース)	1529件
	雇用保険受給者の早期再就職割合	29.1%
	人材不足分野の就職件数	522件
マッチング補助指標	新規求職者1人当たりの紹介件数	0.99
	「有効期間中1件以上紹介があった求人件数」の割合	36.7%
満足度指標	満足度(求職者)	91.0%
	満足度(求人者)	83.0%
令和8年度 大和公共職業安定所の課題と対応		
<p>60歳以上の高齢求職者の増加が著しく、就職件数に占める割合も同様に増加傾向にあり、この層の就労意欲が高い求職者を確実に紹介に結びつけるため、サービスの質の維持と効率化を図る。他所の取組も参考に創意工夫を凝らした窓口運営を行う。</p> <p>昨年度よりマザーズコーナーの相談におけるオンライン相談要領の見直しに着手しており、引き続きコーナーの活性化に繋げる。</p> <p>医療・介護・保育の重点3分野の求人充足を最重点事項として、ハローワークの限られた資源(手間と時間)を割き、所として優先すべきと認識した紹介件数の向上の取組強化や、マザーズコーナーの利便性向上などの取組と重点3分野への取組に最良のバランスで実施する。</p>		

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組（概要）


ハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善を、平成27年度から一体的に実施。

PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- 現行の取組(就職率等を指標にしたPDCAサイクルによる目標管理)を拡充し、業務の質の指標を追加。
- 地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する指標を追加。
- 中長期的な就職支援の強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進。



ハローワークのマッチング機能 の総合評価・利用者への公表

- 業務の成果や目標達成状況等を定期的に公表
→主要指標の実績を毎月、総合評価を年度終了後に公表
- 業務の成果や質、職員の資質向上・業務改善の取組等の実施状況をもとにハローワークの総合評価を実施。
→労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークをグループに分け、その中で比較し評価
- ハローワークごとに実績・総合評価及び業務改善の取組等をまとめ、労働局が公表。
 重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表
- 労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

評価結果等に基づく 全国的な業務改善

- 評価結果等をもとに本省・労働局による重点指導や好事例の全国展開等を実施。
 - ① 評価結果等をもとに労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
 - ② 改善計画を作成、本省・労働局が重点指導(評価期間終了後)
 - ③ 好事例は全国展開(評価期間終了後)
労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催